

～青年教職員のための教育研究集会～

青年教研2014



全体講演会

講師 川内・ひろしさん

前衆議院議員、国民教育総合文化研究所研究員

演題 ■■■■「この国の真実とは」

～原発・米軍基地・憲法・教育～

川内ひろしさんは、原発事故後、東京電力関係者以外で初めて福島第一原発1号機内部を撮影・調査しています。撮影された映像や川内さんの追求によって明らかになった資料などをもとに、マスコミが伝えない原発の真実をお話頂きます。また、特定秘密保護法の成立などによって政府が何をめざしているのか、そのことによって私たちの生活や学校での教育はどう変わるのか、一緒に考えましょう。



<©GUGU2009>

日程

9:30	受付	付
10:00	開会行事	行
10:30	全体会(講演)	事
12:00	昼食	会
13:00	分科会	分
15:30	全日程終了	科

とき 2014年2月15日(土)

ところ 鹿児島県教育会館(中央公園西側)

駐車場

教育会館維持財団 KIZ 駐車場(県立図書館横)

たくさんのご参加をお待ちしております

組織の強化拡大

「はじめの一步」

始良伊佐地区支部

なかなか活動できなかつた2012年度。それじゃいけないということで、集まることを目標に動き出した2013年度。今年度の活動を振り返り、これからの活動について考えます。レポートを通して、いろいろな支部の課題やアイデアを出し合い、鹿教組の未来を担う青年部として組織の強化について考える場になればと思います。



教育内容

「子どものための学級・学校づくり」

～自治的活動の実践からみえてきたこと～

南薩地区支部

みなさんの学校には、「先生～していいですか。」と、担任に何でも「許可(?)」を求め、自分に自信がもてずにいる子どもは多くないですか。また、みなさんは子どもに必要以上に指示を与え過ぎて、子どもの思考を奪っていませんか。

今回、南薩支部からは『自分で考えて行動するけれども、自分の行動には責任を持つ』子どもに育ててほしいと願ってとりくんでいる青年部員の実践をレポート報告します。

「子どものための学級・学校づくり」について、一緒に語り合しましょう。

平和と民主主義 A

「平和学習で“命”の授業」

大隅地区支部肝属地域協議会

小さな中学校の20人の生徒と一緒に歩んだ2年間にわたる実践の報告です。はじめた頃は「平和」を意識していたものの、気付いてみたら「命」にこだわって授業を進めていました。

道徳、修学旅行、総合、文化祭、理科などの授業でとりくんだことを発表します。内容は原発問題や長崎原爆、ハンセン病などです。ぜひ聞きに来ていただいて、色々なご意見お聞かせください。



平和と民主主義 B

「奄美・沖縄の戦跡フィールドワークと

復帰60周年のとりくみ」

奄美地区支部

敗戦からの8年間、米軍政府の統治下におかれた当時の奄美は飢餓状態にあり、困窮の中戦後の復興など夢のまた夢でした。生きるか死ぬかの状況に、島民の選択は「復帰」以外にはなかったと言われます。そのような中、鹿教組奄美支部の前身となる奄美連教組等が中心となって、復帰の機運を高めていきます。しかし、島民の反乱を警戒した軍政府から、集会やデモは厳しく制限され許可なく集まることはできませんでした。このような状況の中で、復帰運動はなぜ世界にも類を見ないほど平和的に成し遂げられたのでしょうか？右傾化を感じる今の日本で、民主的で且つ戦争を否定できる教育を作り上げるヒントがそこにあるような気がします。

私たち奄美支部青年部では、平和を愛し、たくましく生き抜く奄美の人々の歴史やあの戦争について、学習と平和教育の実践を重ねてきました。まだまだ、学習をしながらの実践ではありますが、報告の場がこれからの平和教育について共に考える時間になればと考えています。